

財團協調會福岡出張所

五十以上の組織を有ちその他福岡
三井、早良、宗像、糸島、京築、
三潁、山門等總數三千五百餘であ
る

土地引上小作米減免の問題が起つたら、小作人の要求闘争への憤激をオサエツケて解決してやる方法をとり、更らに、在地軍人の將校（農村の地主が多い）によつて組織されてゐる皇道會と手をツナギ農民を反動（資本地主の利益を守るため）の續にシバリツケておこそうと策してゐるが、組合員大衆は幹部の地主的態度に愛想をツカシてゐる（大鋼支部の脱退がその一つのあらはれである）

全農福岡縣聯合會では企救に於て若干の闘争が行なは

財團協調會福岡出張所

れ、今迄は調停第一主義の方法を採つてゐたかのやうであつたが農村の窮乏とともに小作が大衆の壓力により一、二の大衆闘争が起されたかのごとくである。三井郡における闘争には數へ擧げるほどのことがない。吾福佐では福岡縣十一年佐賀縣十年と資本地主に對する闘争をツツケ三、一五共産黨事件以來數度の彈壓をうけ、小作米減免、殊に土地引上反對闘争に對しては死と半獄も惹かず戦かひきつたのであるし、昨年二月には組合員百八十余名の檢舉をうけたにもかかはらず、小作米減免土地引上反對闘争は軌効に勇敢に闘かはれてゐるのである。また職聯との統一が進められんとしてゐる

四、過去の闘争と組織の若干の批判

一、小作米減免土地引上反對、區劃整理反對、勸産養押、